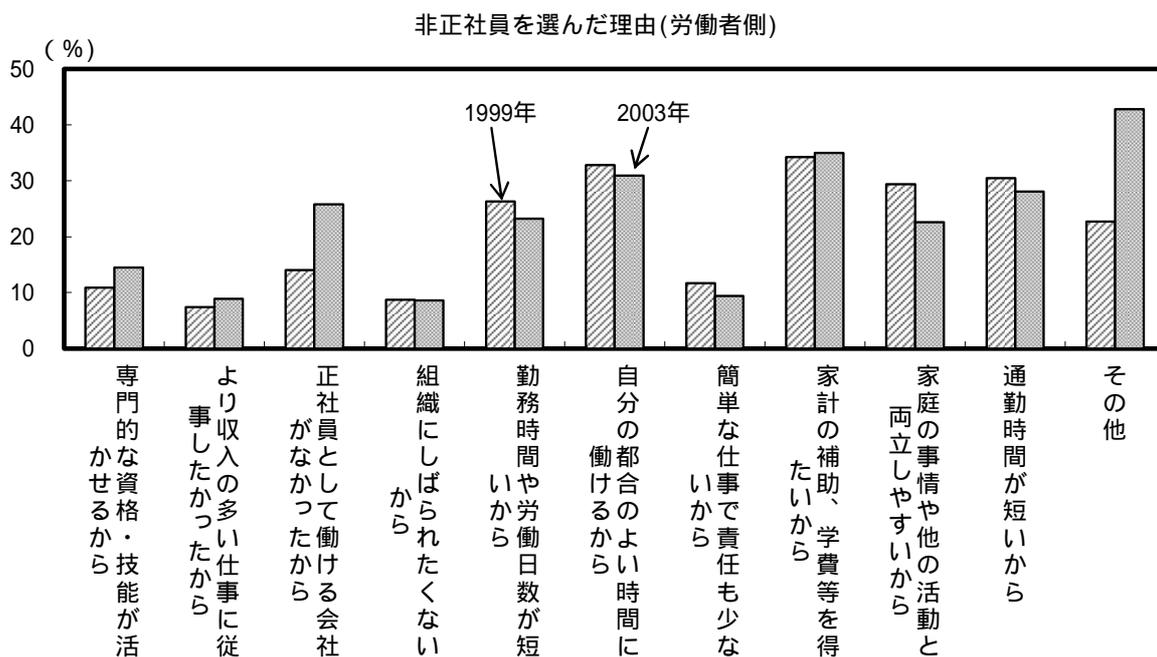
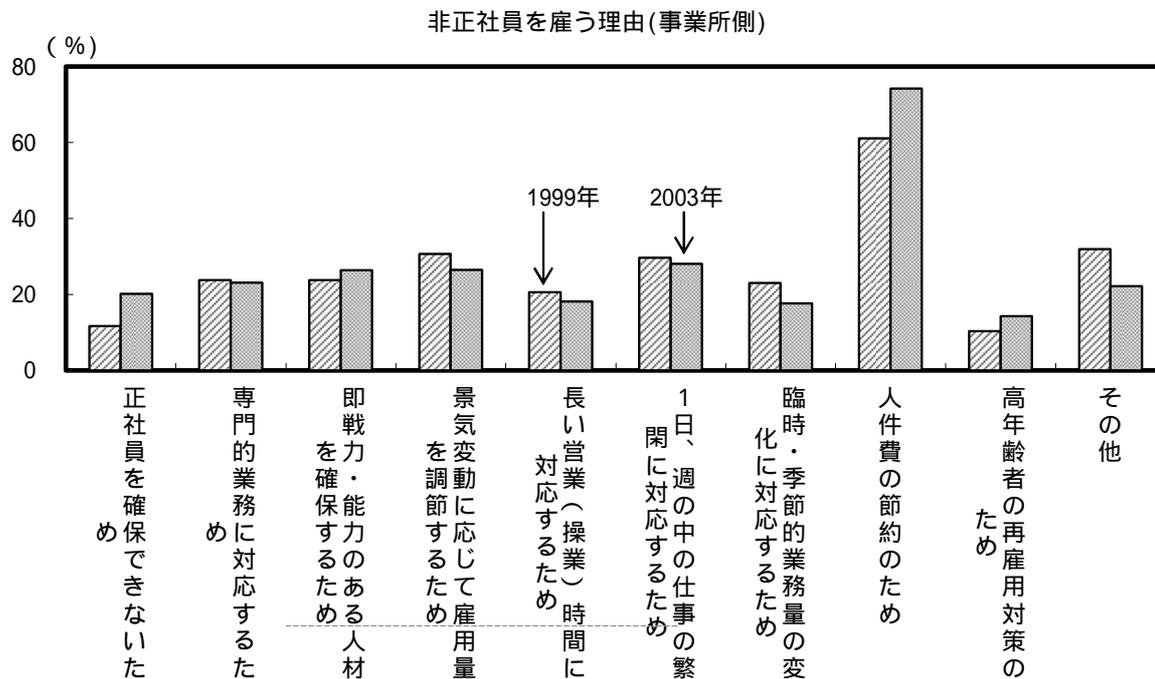


コラム付図 1 - 1 非正社員に関するアンケート調査



(備考) 1.厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」により作成。
 2.複数回答のため、合計は100にはならない。

コラム付図1 - 2 フルタイム・パートタイム賃金格差の国際比較

男女計

(フルタイム労働者=100)

	賃金格差
ドイツ	83.2
オーストリア	81.4
ベルギー	79.0
デンマーク	77.8
フィンランド	76.4
イギリス	73.9
イタリア	72.5
フランス	70.6
ギリシャ	67.9
アイルランド	66.4
ポルトガル	64.1
スペイン	52.4
日本	50.3

女性

(フルタイム労働者=100)

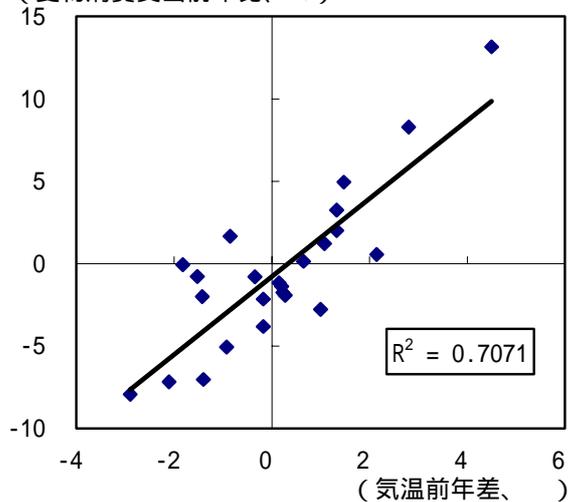
	賃金格差
スウェーデン	92.3
ドイツ	87.5
スペイン	84.0
フランス	81.7
イギリス	74.5
カナダ	69.8
日本	67.2
アメリカ	62.5

- (備考) 1. 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」、OECD「Employment Outlook」より作成。
 2. パート相対賃金は、一般労働者(女性一般労働者)の時間あたり平均賃金を100とした場合、パート労働者(女性パート労働者)の時間あたり平均賃金の比率。
 3. 日本の常用一般労働者(女性一般労働者)時間あたり賃金は、所定内給与額を総労働時間で割ったもの。
 4. 左図の日本は2003年、日本以外は1997年の値。
 5. 右図の日本は2003年、イギリスは2000年、アメリカは1996年、フランスは1994年、その他は1995年の値。

コラム付図 1 - 3 猛暑と消費の関係

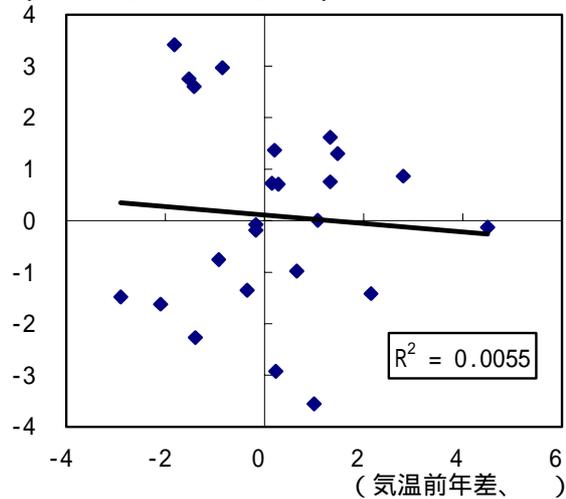
(1) 夏物消費と気温の動きには相関がみられる

(夏物消費支出前年比、%)



(2) しかし、全体との関係は明確でない

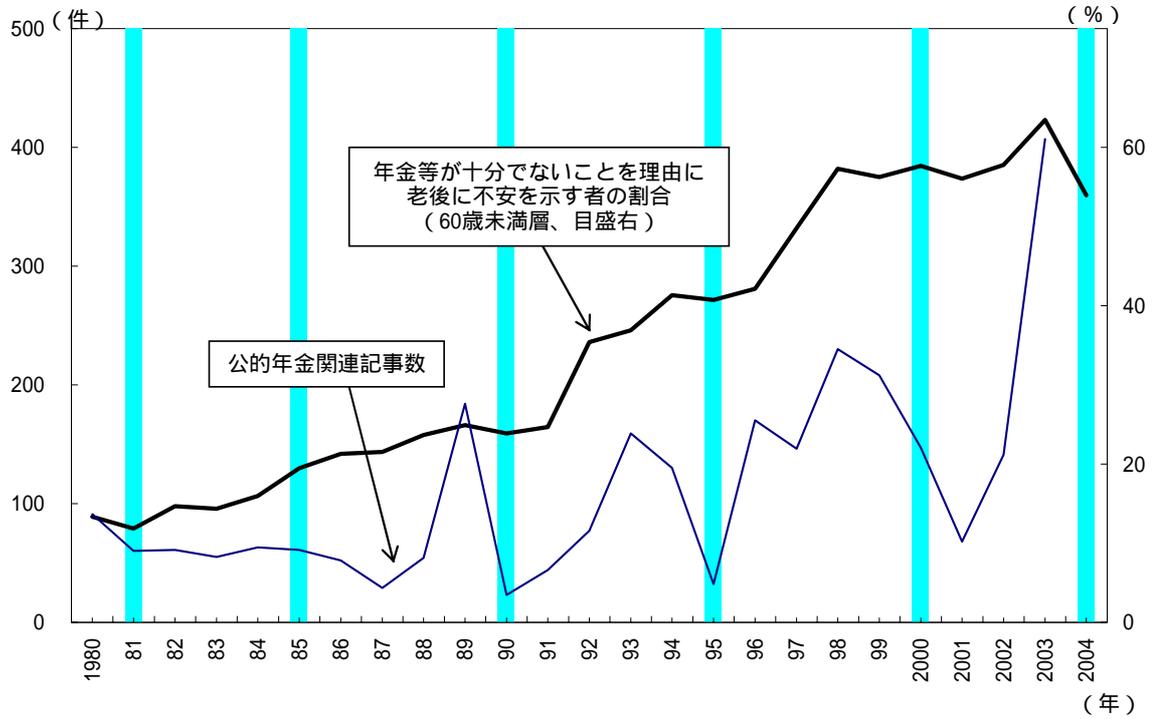
(全体消費支出前年比、%)



(備考)

1. 総務省「家計調査(二人以上の世帯(農林漁家世帯を除く))」、「消費者物価指数」により作成。
2. データ期間は1981年～2004年。各年7、8月の平均値。
3. 消費支出は、品目ごとに対応するCPIを用いて試算した実質値。
4. 気温は、東京と大阪の平均値。
5. ここでの夏物の定義は、ビール、その他の飲料、アイスクリーム・シャーベット、すいか、もも、なし、ぶどう、メロン、電気代、エアコン、電気冷蔵庫、被服及び履物とした。

コラム付図2 - 1 年金不安と公的年金関連記事数の推移



- (備考) 1. 公的年金関連記事数は、日本経済新聞に掲載された記事のうち、見出しに「年金」という語が用いられた記事数をカウントしたもの(2003年まで)。
 ただし、企業年金や私的年金の関連は除いている。また、窓口サービスの拡充、資金運用方針、海外制度、年金裁判の動向に関する報道など、公的年金不安には直接つながらないと考えられる内容もカウントから除いている。
2. 金融広報中央委員会「家計の金融資産に関する世論調査」などにより作成。
 (シャドーは、各年金改革法案成立時期後の直近調査を示す)